

**Q** 今後の取り組みについて、国の施策等を含めて伺いたい。

**A** プランに基づき、農地中間管理事業の活用などを通じて、担い手への農地の集積、集約化を推進していく。令和4年度から予定されている国庫補助事業の集落営農プロジェクト促進事業については、集落営農組織の活性化に向けたビジョン作りと具体的な取り組みへの支援、関係機関によるサポートの取り組みへの支援となっており、地域の農地の維持集積に大きな役割を果たしていることから、当該補助事業の研究に努めていく。



ばば 茂 映像はこちら



### A 市内すべての地区で実質化が完了した

### Q 人・農地プランはどのくらい進んでいるのか

**Q** 人が定めた方針に基づき、市内全12地区の人・農地プランの実質化を行い、2月18日付で市のホームページで公表した。

**Q** 人・農地プランの進捗状況はどうなっているのか。

**A** 人が定めた方針に基づき、市内全12地区の人・農地プランの実質化を行い、2月18日付で市のホームページで公表した。



農業用ロボットの検証実験

**Q** 今後の取り組みについて、国の施策等を含めて伺いたい。

**A** プランに基づき、農地中間管理事業の活用などを通じて、担い手への農地の集積、集約化を推進していく。令和4年度から予定されている国庫補助事業の集落営農プロジェクト促進事業については、集落営農組織の活性化に向けたビジョン作りと具体的な取り組みへの支援、関係機関によるサポートの取り組みへの支援となっており、地域の農地の維持集積に大きな役割を果たしていることから、当該補助事業の研究に努めていく。

**Q** 公共料金や各種証明書の発行手数料等の支払いを地域通貨で出来ないものか。

**A** 地域通貨で支払いが出来るよう調整を行っている。

**Q** 農業用ロボットの検証実験

**A** 農業用ロボットの検証実験

### A 各学校から提出された問題箇所は267件

### Q 深谷市内の通学路安全総点検の状況については



ふくしま ひでき 樹 映像はこちら



**Q** 問題箇所の主な内容は。

**A** 「白線やグリーンベルトが消えかかっている」「カーブミラーがなく見通しが悪い」「道幅が狭く登校時の交通規制が必要」「交通量が多くスピードを出す車が多い」等。

**Q** 267件のうち、深谷市が実施する安全対策のスケジュールは。

**A** 令和4年度に31カ所、令和5年度に4カ所、令和6年度から令和8年度では各年度1カ所を予定。緊急性の高いものや比較的簡易な対策は既に対策を講じたものを含め、令和3年度中に8カ所を予定。なお、雑草や樹木による「見通しの悪さ」や「通行の妨げ」対策等を含めた26カ所については、年度計画によらず、適宜維持管理に努める。

**Q** 仙元山公園陸上競技場について

**A** 東京2020パラリンピック陸上競技で深谷市にゆかりのある3名



仙元山公園 陸上競技場

**Q** 選手が活躍した。また、幡羅中陸上部女子リレーも全国大会で準優勝している。大会と同じ環境での練習場確保や更なる陸上競技記録向上のためにも改修工事は必要と考えるが。

**A** オリンピック・パラリンピックや全国大会など、大きな大会で活躍できるような選手を育成するには、練習環境の充実が必要なる事は理解している。多額の費用が発生することから、どの施設をどの程度改修するか、陸上競技場の将来ビジョンやスポーツ施設全般について、スポーツ主管課とも協議しながら研究する。

### A 地元自治会へ確認する

### Q 道路幅員が狭く車両のすれ違いが難しい道路の改善を



なかつ ひこ 彦 映像はこちら



**Q** 園児たちの保護者が利用している市道V-168号について、特に市道V-155号との交差点から国道140号バイパスまでの区間の道幅が狭く、すれ違いが出来ず困っている。花園第二保育室や花園第二こども園の前面道路を含む北武蔵広域農道との交差点から南へ向かった国道140号バイパスまでの区間の生活道路整備を望む。

**A** 当該区間は延長約470メートルで、道路幅員は、路線の北側約360メートルが4・0メートルから4・6メートル、南側の拡幅済み区間を除く約90メートルが3・5メートルから3・8メートルとなっている。沿線には花園第二保育室や花園第二こども園があり、朝晩は通行する車両が増え、特に南側の約90メートルの区間は、道路幅員が狭いため車両のすれ違いが難しい状況であると認識している。生活道路の整備に

**Q** 園児たちの保護者が利用している市道V-168号について、特に市道V-155号との交差点から国道140号バイパスまでの区間の道幅が狭く、すれ違いが出来ず困っている。花園第二保育室や花園第二こども園の前面道路を含む北武蔵広域農道との交差点から南へ向かった国道140号バイパスまでの区間の生活道路整備を望む。

**A** 当該区間は延長約470メートルで、道路幅員は、路線の北側約360メートルが4・0メートルから4・6メートル、南側の拡幅済み区間を除く約90メートルが3・5メートルから3・8メートルとなっている。沿線には花園第二保育室や花園第二こども園があり、朝晩は通行する車両が増え、特に南側の約90メートルの区間は、道路幅員が狭いため車両のすれ違いが難しい状況であると認識している。生活道路の整備に



道路幅員の狭い道路

### A 講演会を開催する等、制度の周知啓発に努めていく

### Q 成年後見制度をどのように推進していくのか



たぐち ひで お 夫 映像はこちら



**Q** 新たな高齢者福祉計画で見直された部分は。

**A** 大きな変更はないが、健康づくりや生きがいづくり、権利擁護に関すること等を充実させた。

**Q** 成年後見制度の利用の実態と周知の方法は。

**A** 成年後見サポートセンターを設置し、相談や制度利用の支援、市民後見人の養成等を行っている。令和2年度には73件の支援を行った。

**Q** 交通弱者に対する支援は。

**A** 福祉タクシーの利用助成、運転ボランティアの派遣等を行っている。今後、公共交通機関、企業等と連携することも含めて研究していく。

**Q** 認知症施策の推進には、どのようなものがあるか。

**A** 認知症についての正しい知識等を学ぶ認知症サポーター養成講座や認知症カフェの開催支援、早期発見、早期受診を促すための各種施策等、



一般介護予防「元気ふっかつ教室」